



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 GMOアドパートナーズ株式会社
 コード番号 4784 URL <https://www.gmo-ap.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋口 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 菅谷 俊彦

TEL 03-5728-7900

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	18,007	5.0	376	55.5	413	1.7	260	18.0
2020年12月期第2四半期	17,146	2.0	242	2.9	420	52.2	318	60.7

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 204百万円 (47.4%) 2020年12月期第2四半期 389百万円 (22.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	16.23	16.21
2020年12月期第2四半期	19.81	19.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	11,042	5,457	48.9
2020年12月期	11,897	5,381	44.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,397百万円 2020年12月期 5,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00	8.20	8.20
2021年12月期	0.00	0.00			
2021年12月期(予想)			0.00	8.80	8.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	2.8	460	25.9	450	21.5	315	20.7	19.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	16,757,200 株	2020年12月期	16,757,200 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	670,167 株	2020年12月期	707,467 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	16,069,724 株	2020年12月期2Q	16,047,799 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、親会社であるGMOインターネットグループのインターネット広告・メディアセグメントを構成する連結企業集団として「すべての人にインターネット」という企業理念のもと、インターネット広告事業におけるナンバーワンを目指し、事業を展開しております。

当社グループの事業領域であるインターネット広告市場につきましては、2020年度の広告費が2兆2千億円を超え、総広告費に占める割合は36%超の規模にまで成長しております。総広告費が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け減少する中において、継続して拡大・成長を続ける市場となりました（株式会社電通調べ）。また、消費者の可処分時間におけるインターネットの利用の割合は近年一貫して増加する傾向にあり、特に購買意欲の高い20代から40代においては、インターネットが接触メディア中で最も利用時間の長いメディアになっています（総務省「令和元年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より、当社にて推計）。

このような流れを受け、市場ではマス広告のように、認知促進を目的として動画広告等を活用するなど、企業における広告活動のより多様な領域においてインターネット広告の活用が進んでおります。当社グループでは、今後も同様の傾向が続くものと見込んでおり、本市場におけるさらなる取扱高の拡大と、市場トレンドに即した柔軟な戦略による収益の最大化を企図し、事業活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、政府からの外出等の自粛要請が継続する中、消費需要の傾向に大幅な変化・回復が見られない状況が継続いたしました。一方で、将来の経済活動の再始動をにらんだ一部業種での広告需要の回復が進むなど、当社グループの事業へ直接的・間接的に影響を及ぼす経済環境でありました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は18,007百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は376百万円（前年同期比55.5%増）、経常利益は413百万円（前年同期比1.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は260百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

売上高・営業利益が前年同期比で増加した一方で、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に計上された投資事業組合運用益が当第2四半期連結累計期間において減少した事により、前年同期比で減益となりました。

当社はセグメント情報の利用者にとって明確で有用な情報開示を目的として、事業を「エージェンシー事業」および「メディア・アドテク事業」として区分しております。セグメント別の業績は次のとおりであります。

①エージェンシー事業

「エージェンシー事業」は、当社グループにおける広告主様との主要な接点として、広告商品の販売や提供する広告の管理運用といった、広告主様への営業活動を主に担っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、前年から好調に拡大をしていた一部の業種・業態の顧客における取引が引き続き堅調に推移し、売上高の拡大に寄与しております。一方、中・小型企業向けの取引はやや軟調となりましたが、前年の商材入替・営業手法の刷新といった取組みが寄与し、セグメント全体での売上高は前年同期から増加いたしました。

今後もインターネット広告市場における成長領域・新商流を適時適切につかみ、グループ経営の相乗効果を発揮することによって、大きな成長を実現すべく事業活動を展開してまいります。

これらの結果、エージェンシー事業の売上高は13,452百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は436百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

②メディア・アドテク事業

「メディア・アドテク事業」は主に、当社グループにおけるアドテクノロジー商材・自社メディアの開発およびメディア様とのリレーション構築の要となっております。

当事業においては自社開発のスマートフォン向けアドネットワーク「AkaNe」、コンテンツを活用した集客やブランディングのニーズに高度で適切な配信を実現する、コンテンツ集客に特化した広告配信プラットフォーム（DSP）「ReeMo」を主要商材として、総合的なマーケティングプラットフォームを提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、巣ごもり影響によるインターネットの接触時間の増加傾向は続いてお

り、アドテク事業の市場環境は堅調に推移しておりますが、出稿・仕入にかかる単価などの取引条件や商材ミックスの変動により、売上高は前年同期比で微減となりました。一方でセグメント利益については粗利率が向上した影響により、増加しております。引き続き市場のニーズをとらえた商品開発・提供を行い、当事業の成長に注力してまいります。

これらの結果、メディア・アドテク事業の売上高は5,465百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は321百万円（前年同期比67.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて854百万円減少し11,042百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少438百万円、現金及び預金の減少326百万円、投資有価証券の減少123百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて930百万円減少し5,584百万円となりました。これは、主に買掛金の減少588百万円、固定負債その他の減少129百万円、未払金の減少76百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し5,457百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加129百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により260百万円の増加、配当金の支払いにより131百万円の減少等）、その他有価証券評価差額金の減少62百万円、自己株式の減少13百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて326百万円減少し、4,684百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、133百万円（前年同期は343百万円の増加）となりました。

増加要因としては、主に税金等調整前四半期純利益413百万円、売上債権の減少額406百万円等によるものであります。減少要因としては、主に仕入債務の減少額582百万円、法人税等の支払額168百万円、預り保証金の減少額129百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、63百万円（前年同期は116百万円の増加）となりました。

増加要因としては、主に投資有価証券の払戻による収入59百万円等によるものであります。減少要因としては主に無形固定資産の取得による支出79百万円、投資有価証券の取得による支出25百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、129百万円（前年同期は326百万円の減少）となりました。

減少要因としては、配当金の支払額131百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最新の業績動向を踏まえ、2021年2月8日に公表いたしました2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）通期の業績予想を上方修正致しました。

詳細につきましては、本日（2021年8月6日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,011,022	4,684,929
受取手形及び売掛金	3,671,663	3,232,796
たな卸資産	3,051	4,299
その他	123,640	167,475
貸倒引当金	△37,743	△34,789
流動資産合計	8,771,633	8,054,709
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	282,968	266,033
工具、器具及び備品（純額）	79,842	75,532
有形固定資産合計	362,810	341,566
無形固定資産		
ソフトウェア	203,617	211,199
その他	69,022	112,317
無形固定資産合計	272,640	323,517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,035,550	912,290
関係会社長期預け金	860,000	860,000
繰延税金資産	207,271	154,026
その他	419,046	426,000
貸倒引当金	△31,435	△29,274
投資その他の資産合計	2,490,433	2,323,043
固定資産合計	3,125,884	2,988,127
資産合計	11,897,518	11,042,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,991,323	3,402,584
未払金	369,515	293,288
未払法人税等	121,586	55,884
未払消費税等	101,292	142,772
賞与引当金	102,529	101,847
役員賞与引当金	28,290	—
その他	1,108,719	1,034,284
流動負債合計	5,823,256	5,030,662
固定負債		
繰延税金負債	47,949	39,230
資産除去債務	154,967	155,219
その他	489,662	359,776
固定負債合計	692,580	554,226
負債合計	6,515,837	5,584,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,301,568	1,301,568
資本剰余金	2,133,568	2,136,329
利益剰余金	1,701,274	1,830,596
自己株式	△253,016	△239,676
株主資本合計	4,883,395	5,028,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430,628	368,300
その他の包括利益累計額合計	430,628	368,300
新株予約権	38,539	35,652
非支配株主持分	29,119	25,177
純資産合計	5,381,681	5,457,947
負債純資産合計	11,897,518	11,042,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	17,146,964	18,007,299
売上原価	14,186,480	14,835,382
売上総利益	2,960,483	3,171,917
販売費及び一般管理費	2,718,317	2,795,383
営業利益	242,165	376,533
営業外収益		
受取利息	1,859	2,227
受取配当金	7,020	8,748
為替差益	24,768	2,236
補助金収入	5,547	5,232
投資事業組合運用益	138,138	11,126
持分法による投資利益	—	2,391
その他	5,548	5,248
営業外収益合計	182,883	37,211
営業外費用		
持分法による投資損失	4,241	—
その他	8	124
営業外費用合計	4,249	124
経常利益	420,799	413,620
特別損失		
固定資産売却損	1,016	—
特別損失合計	1,016	—
税金等調整前四半期純利益	419,782	413,620
法人税、住民税及び事業税	121,286	72,876
法人税等調整額	△26,593	73,733
法人税等合計	94,693	146,609
四半期純利益	325,089	267,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,033	6,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,056	260,929

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	325,089	267,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,183	△62,327
その他の包括利益合計	64,183	△62,327
四半期包括利益	389,272	204,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,239	198,601
非支配株主に係る四半期包括利益	7,033	6,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	419,782	413,620
減価償却費	77,661	61,110
のれん償却額	34,060	—
株式報酬費用	5,805	1,563
固定資産売却損益(△は益)	1,016	—
受取利息及び受取配当金	△8,879	△10,975
投資事業組合運用損益(△は益)	△138,138	△11,126
持分法による投資損益(△は益)	4,241	△2,391
補助金収入	△5,547	△5,232
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,189	△5,114
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,102	△681
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,050	△28,290
売上債権の増減額(△は増加)	440,732	406,847
仕入債務の増減額(△は減少)	△850,235	△582,852
預り保証金の増減額(△は減少)	△342	△129,886
その他	382,144	△86,914
小計	354,168	19,676
利息及び配当金の受取額	8,879	10,796
補助金の受取額	5,547	5,232
法人税等の還付額	70,035	—
法人税等の支払額	△95,005	△168,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,624	△133,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△111,115	△16,495
無形固定資産の取得による支出	△92,033	△79,808
投資有価証券の取得による支出	—	△25,000
投資有価証券の払戻による収入	—	59,999
投資事業組合からの分配による収入	119,661	7,850
敷金の差入による支出	△199	△10,909
敷金の回収による収入	205,160	50
その他	△5,140	1,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	116,331	△63,084

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△119,771	△131,345
非支配株主への配当金の支払額	△8,051	△10,023
ストックオプションの行使による収入	—	11,650
自己株式の取得による支出	△14	—
子会社の自己株式の取得による支出	△198,972	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326,810	△129,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	501	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	133,647	△326,092
現金及び現金同等物の期首残高	4,050,681	5,011,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,184,328	4,684,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、依然として経済活動が本格的な回復に至っていない状況を鑑み、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した仮定について、重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期および経営環境への影響が変化した場合、当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,088,829	5,058,134	17,146,964	—	17,146,964
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,051	614,209	616,261	△616,261	—
計	12,090,881	5,672,344	17,763,225	△616,261	17,146,964
セグメント利益	424,826	191,990	616,816	△374,651	242,165

(注1) セグメント利益の調整額△374,651千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エージェンシー 事業	メディア・ アドテク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,216,889	4,790,409	18,007,299	—	18,007,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	235,512	675,277	910,789	△910,789	—
計	13,452,402	5,465,687	18,918,089	△910,789	18,007,299
セグメント利益	436,845	321,637	758,482	△381,948	376,533

(注1) セグメント利益の調整額△381,948千円は、報告セグメントに属さない持株会社運営に係る費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。